

# アンジェ美術館展

## ——ロココ絵画の華

2002|6.8<sup>土</sup>-7.14<sup>日</sup> | 千葉市美術館  
Chiba City Museum of Art

●開館時間：10:00～18:00 金曜日は20:00まで（入館受付は閉館の30分前まで） ●休館日：毎週月曜日

●入館料：一般 800 (640)円 / 大学・高校生 560 (450)円 / 中・小学生 240 (200)円

※カッパ内は前売・団体30名以上の料金 前売券はJR東日本びゅうプラザ（7月14日まで）千葉市美術館ミュージアムショップ（6月2日まで）で発売

主催：千葉市美術館 / 読売新聞社 / 美術館連絡協議会 後援：フランス大使館 協賛：花王株式会社 協力：JAL



ジャン＝アントワーン・ワトール《待ちうけられる愛の宣言》(部分)1716年頃

Les Chefs-d'œuvre des musées d'Angers



ロレンツォ・リッピ《「偽り」のアレゴリー》1650年頃



ジャン=オノレ・フラゴナール《ケファロスとプロクリス》1750-1755年頃

## Les Chefs-d'œuvre des musées d'Angers



ジャン=バティスト・グルーズ  
《ボルサン夫人と目される肖像》  
18世紀後半



アントワヌ・エテックス《アポロンの円盤に倒されて死ぬヒュアキントス》1829年



ジャン・シメオン・シャルダン《果物、瓶と陶器》1764年頃

ジャン=オーギュスト=ドミニク・アングレ《パオロとフランチェスカ》1819年



フランス中西部、ロワール河畔に位置するアンジェは、紀元前より交通および戦略上の要衝として栄えた美しい都市です。1801年、アンジェの貴族ピエール=ルイ・エヴエイヤール=ド=リヴォワ侯爵(1736-90)が蒐集した絵画コレクションを核として、この地にアンジェ美術館が設立されました。

本展は、アンジェ美術館のコレクションから、17世紀から19世紀にかけてのヨーロッパ美術の名品79点を選びすぐり、紹介するものです。展覧会の中心となるのは、リヴォワ侯爵が蒐集した、フラゴナール、グルーズ、シャルダンに代表される、18世紀フランスのロココ絵画です。なかでも、貴族たちが戸外で集う情景を描いた、ワトーとその周辺の画家たちによる「雅宴画(フェット・ギャラント)」は、フランス宮廷文化の優美さを現代に伝えてくれます。

さらに、アングル、ジェラルドなど、18世紀末から19世紀にかけてサロンで活躍した画家たちの作品や、ティエポロ、カノーヴァの作品を含むイタリア美術、17世紀の北方絵画なども出品されます。200年の伝統を誇るアンジェ美術館のコレクションを日本で初公開する本展は、ロココ絵画を中心にヨーロッパ美術の大きな流れを展観できる好機と言えるでしょう。

### 【催し物のご案内】

●講演会『ロココ絵画の魅力——「雅」と「感覚」の時代の美術』  
日時:6月23日(日) 午後2時より 講師:矢野陽子氏(青山学院大学講師)

●美術講座『アンジェ美術館コレクションの精華』  
日時:7月7日(日) 午後2時より 講師:松下和美氏(群馬県立近代美術館学芸員)

※いずれも会場は11階講堂。入場無料、先着順に受付

### 【同時開催】

所蔵作品展 江戸後期の役者絵——江戸と上方 7月7日(日)まで

### 【次回予告】

高村光雲とその時代展 7月16日(火)~8月25日(日)

### 【交通案内】

JR千葉駅東口より徒歩約15分  
京成バス(のりば⑦)で3つめ「大和橋」下車2分  
千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園」下車5分  
京成千葉中央駅東口より徒歩約10分  
駐車場あり(中央区役所と共用のため、平日は混雑することがあります)



## 千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

TEL.043-221-2311 <http://www.city.chiba.jp/art/>